



イスラエルの回復のために祈りましょう

ブラジルのユダヤ人

人口:130,000 人

■色とりどりの衣裳に身を包むサンバ・ダンサーのふるさと、ブラジル。この国は、多くのユダヤ人のふるさとでもある。ユダヤ人が初めてこの地に来たのは1500年、ポルトガル人がこの国を植民地にし始めたころのことである。彼らは「コンベルソ」と呼ばれ、ポルトガルやスペインにおいて自分の宗教や慣習を放棄し、カトリック教会への改宗を強制された人たちである。1492年、コロンブスが新世界を発見したその年に、スペインでの強制改宗を拒否したユダヤ人は、同国から追放され、その多くは隣国のポルトガルに逃亡していった。このようなコンベルソの一集団が、1502年にブラジルのある地域への移住を許され、サトウキビを商品としてブラジルで初めて栽培したと言われている。コンベルソは、ブラジル文化の成り立ちに大きく貢献し、例えば彼ら書いた歌には、ブラジルにおける最初のポルトガル語曲になったものも数曲ある。1548年、すでにスペインがそうであったように、ポルトガルでもユダヤ人迫害の厳しい風が吹き荒れ始め、ユダヤ人の「コンベルソ」が、まだ密かにユダヤ教を信仰しているのではないかと監視されるようになった。もし、ブラジルに移住していたら、監視は和らぐだろうと多くのユダヤ人は思っていた。しかし、ブラジルでも1581年以降、宗教裁判官がポルトガルから定期的に派遣されるようになり、彼らはこの国でも、ユダヤ教信仰を公に守ることはできなかったのである。

■ブラジルの一部は、1630年から54年までオランダの支配下にあったため、短い信教の自由の時期があり、強制的にカトリック教に改宗させられていたポルトガルからのユダヤ人は、それまで隠していたユダヤ教信仰を公にし始めた。また、同じ時期に何百人ものユダヤ人がアムステルダムからやって来た。その多くはレシフェという都市に住み、15年後には、この地に住むヨーロッパ系市民の約半数がユダヤ人となった。そして、1654年に支配権がオランダからポルトガルに移り、ある23人のユダヤ人のグループが、当時ニューアムステルダムと呼ばれていた町（現ニューヨーク市）に移住した。このブラジル・オランダ系グループこそ、今日、ニューヨーク都市圏の隅々まで広がっている、世界最大のユダヤ人コミュニティの創始集団なのである。

■ポルトガルが統治を始めたブラジルでは、残されたユダヤ人が公にユダヤ教を守ることはできなかった。結果的にその大半は異邦人と結婚し、次第に一般のブラジル社会に溶け込んで同化していき、1773年、ポルトガルがコンベルソに対して行った宗教裁判は終わった時には、何と、大半のユダヤ人は、先祖から伝わった自分の宗教伝統を忘れてしまっていたのである。1822年、ブラジルがポルトガルから独立を宣言し、1825年の憲法でカトリック教が国教となったが、ほかの宗教を信仰することも許されていた。

■セファルディ系（スペイン系）ユダヤ人は、ベレンや、後にはアマゾン川流域のマナウスという町にも住み着き、1900年代になると、ロシア系ユダヤ人が続々とやって来た。そして第一次世界大戦が終わってから1930年までの間に、2万人以上のユダヤ人が、この地域に移り住むようになったのである。しかし、30年にブラジルの移民法に規制が設けられ、37年には、極秘命令により、ユダヤ人移民の受け入れを一切拒否するように国境が閉ざされてしまった。その扉は、第二次世界大戦の終わるまで、再び開かれることはなかった。ブラジルは、多くの諸国と同様、ユダヤ人の苦境に背を向けてしまった。第二次大戦の後、千人以上ものナチ戦犯がブラジルに逃げてきたと推測されているが、政府当局は積極的に彼らを捜し出そうとはしなかった。ナチ強制収容所の医師で、その残虐さで悪名高いヨセフ・メンゲレは、1979年に他界するまでブラジルで暮らしていたのである。ユダヤ人大虐殺の時、ナチスがホロコーストの犠牲者から奪った金や現金などの多くは、ブラジルの銀行に預けられていると言われている。

■アシュケナジ系(ヨーロッパ系)ユダヤ人は今日、ユダヤ人の大半を占めており、彼らはサンパウロ(6万人)やリオ・デ・ジャネイロ(4万人)に住む傾向がある。ブラジルのユダヤ人のほとんどは、世俗的になりがちである。現代のブラジルには、さまざまな民族が共存し、平和に暮らす伝統があるので、反ユダヤ主義は比較的珍しいが、幾つか事件が起こることもある。ユダヤ人はほかの民族と結婚し、同化する傾向にある。ブラジルでは、少数の裕福層と、多数の貧困層との間に貧富の差がかなりあり、犯罪も大きな問題となっている。

 祈りの課題

☆この地における心霊主義の強い影響力から、ユダヤ人が解放されるように。

☆彼らの霊的な真理を追求する心をくじいてしまう、自己満足や物質主義に立ち向かって。

☆ブラジルのユダヤ人が、イエシュア(イエス)をメシアとして知るように。

☆クリスチャンとユダヤ人との和解が実現するように。

☆彼らの怒りが、神の許しと愛によって消えてしまうように。

☆働き人たちに、ユダヤ人にそのルーツを教えるという機会が与えられ、メシアであるイエシュアを彼らに紹介することができるように。

☆彼らのすべてが、神のみこころのままに成っていくように。